

2016年度研究大会プログラム

日 時：2016年5月14日（土） 10時～（受付開始 9時30分～）

場 所：専修大学神田校舎1号館 302教室

東京都千代田区神田神保町3-8（最寄駅：地下鉄駅半蔵門線・都営三田線・都営新宿線神保町駅徒歩3分、地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線九段下駅徒歩3分）

統一テーマ：21世紀における戦争と平和

午前の部

第一セッション 総論——戦争と平和をめぐる法の歴史と発展（10時～12時）

座長 法政大学教授 森田 章夫

報告1：武力紛争法の発展の方向性とその評価
——付隨的損害の扱いを中心に——

大阪大学教授 真山 全

報告2：戦間期国際法学における社会法モデルの思想史的意義
関西大学教授 西 平等

昼食・役員会（12時～14時）

午後の部

公募報告セッション（14時～15時10分）

座長 京都大学教授 酒井 啓亘

報告1：国家の「侵略行為」を前提とする「侵略犯罪」の主体
——「侵略犯罪」の実行行為の「コントロール」理論による画定の検討を中心にして——
神戸学院大学准教授 木原 正樹

報告2：技術革新への国際法の対応可能性
——自律型致死兵器システム（LAWS）を事例として——
広島市立大学准教授 福井 康人

第二セッション 各論的考察（15時30分～17時30分）

座長 同志社大学教授 坂元 茂樹

報告1：領域国の同意に基づく武力行使の今日的展開
——国連安全保障理事会による関与の動きに着目して——
青山学院大学教授 阿部 達也

報告2：21世紀の海洋安全保障
——公海における第三国船舶への干渉の法的根拠——
防衛大学校講師 石井 由梨佳

総 会（17時30分～18時）

懇親会（18時30分～20時30分） 専修大学神田校舎1号館 15階ホール